



大学を使い倒すには ～挑戦することで拓ける世界～

林 篤裕

(実践女子大学 人間社会学部)

e-mail: hayashi-atsumuro@jissen.ac.jp



資料掲載URL: statds.shop/haifu/#Shimo2509A

1

2. 私からの質問

- ◆ 大学に何を求めておられるのか?
 - ◆ 深い研究テーマ? ◆ 友達? ◆ 就職?
 - ◆ 特定の知識? 技能? ◆ 資格? ◆ 親に言われて?
 - ◆ **決まってない。決められない。**
- ◆ **これらを考える上で多少でも参考になれば幸い。**
- ◆ 考えたことはありますか?
 - ◆ 人と違ったことをしたくないか? 人と同じで良いの?
 - ◆ 新しいことをやってみたくはないか?
 - ◆ 新しいモノ・知識ってワクワクしないか?
 - ◆ 大学で何ができると思っている?

2

3. 大学で学ぶことの意味

高校と大学で
全然違う!!

- ◆ 「大学とは?」何?? どんなイメージ??
 - ◆ 専門、自由、夜更かし、留学、趣味、バイト、飲酒、タバコ、一人暮らし、責任、スマホ、選挙、運転免許、サークル、迷子、恋愛、ゲーム、勉強
- ◆ 『今月から学生になったことを自覚せよ!』
(某学長の入学式での武辞)
- ◆ 外形的には ◆ 学び方の形態では
 - ◆ 生徒: 中学生～高校生 ◆ 生徒: 既知の事実を学ぶ人
 - ◆ 学生: 大学生、大学院生 ◆ 学生: 未知の予測を
実証する人
- ◆ 「教えてもらうのが生徒、
自ら研究するのが学生」
このブレークスルーが
体得できるかがキー
- ◆ 答えの定まらない課題を自ら発見して取り組む
 - ◆ 「未知問題への挑戦」: 高校教育を基礎に

3

4. 「学び」としての高校と大学の違い

- ◆ 初等中等教育(小学校・中学校・高等学校)
 - ◆ 教える内容は普遍的・確立したもの。
 - ◆ 学習指導要領で規程: 全国統一
 - ◆ 「正しい知識を的確に獲得する学校」
- ◆ 高等教育(大学・大学院)
 - ◆ 「未知問題への挑戦」。正解が定まらない。
 - ◆ 教員と学生で協働して課題を解決していく学校
 - ◆ 「考える方法を獲得する学校」
 - ◆ 「視野を広げる場」==> 将来の選択の幅にも繋がる

==== 成長の過程 =====

4

8. 大学を“使い倒す”には

- ◆ 新しい知識を得たくはないか? 見聞を広めたくはないか?
- ◆ 「元」を取りたくはないか?
- ◆ 自分で主体的に切り拓く・調べてみる。
- ◆ 何にでも挑戦してみよう。その後で評価してはどうか?
 - ◆ 「考えてからやる」より「やってから考える」に。
- ◆ 「未知の課題」の前では、教員と学生は対等
 - ◆ 誰も知らない・判らない
- ◆ 疑問は周りの人と議論する
 - ◆ 大学にはいろいろな仲間(教員・友達・先輩)がいる。
 - ◆ 自分からも「他人と異なる意見」を発信する。

5

9. “挑戦”することで拓ける世界

- ◆ 「失敗は成功のもと」の真意として
- ◆ 「挑戦の先には成功か成長しかない」:
by 忽那 健太さん(くつな、プロラグビー選手)
- ◆ 経験・実践したことによる「気付き」
- ◆ 「今日が一番若い」=「思い立ったが吉日」
- ◆ 「無駄なことは何もない」: 将来に生きてくる
- ◆ R.P.ファインマン著、
「ご冗談でしょう、ファインマンさん(上/下)」
- ◆ ファラデー著、「ロウソクの科学」



5

10. まとめに代えて(1)

- ◆ 大学は、未知の課題に「主体的に」取り組むところ。
 - ◆ いろいろな知識が落ちている
 - ◆ 「考える方法を獲得する学校」
 - ◆ 「視野を広げる場」==> 将来の選択の幅にも繋がる
 - ◆ **入学した大学が
その個人の評価・価値を決めるわけではない**
- ◆ 大学の講義: 「“デパ地下”のようなもの」
 - ◆ 多様な高級品の品揃え。全部の味は知らなくても良いが、売り場の配置は把握しておくとの良いのではないか。
- ◆ 高校教育を「超えた」ところに、大学教育が存在

7

10. まとめに代えて(2)

- ◆ 「明るく」悩もう: 親、兄弟、先生、友達を巻き込んで
 - ◆ そのための「言語運用能力」= 聞く、考える、伝える 道具
- ◆ ご自身が何をするかにかかっている
 - ◆ 主体的に行動を起こすことが吉
 - ◆ 挑戦あるのみ。「やってから考える」
 - ◆ 経験から得られる知見。「気付き」。
- ◆ 人は変わる。変わる。
- ◆ 「やりたい事を、やりたい時に、
やりたい様に、やる」

8